

2008年10月26日 実施

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成20年度 第0回 会計実務検定試験

財務諸表分析

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、問題は開いてはいけません。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験は「始め」の合図で開始し、「止め」の合図があったら解答の記入を中止し、ただちに問題を閉じなさい。
4. 制限時間は90分です。

【1】 次の文章の（ 1 ）から（ 5 ）の中に入る適当な語句を、〔解答群〕の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。同じ記号（語句）を2回以上用いてもよい。

財務諸表分析は、主に財務諸表の数値を用いて企業の分析を行うが、財務諸表は、一定期間の企業業績を示した（ 1 ）、一定時点の資産・負債等の状態を示す（ 2 ）、現金及び現金同等物の一定期間の動きを示す（ 3 ）や、株主資本など純資産の内容とその増減を示した（ 4 ）、および（ 1 ）から（ 4 ）の説明表である（ 5 ）からなる。

〔解答群〕

ア. 試算表 イ. 株主資本等変動計算書 ウ. キャッシュ・フロー計算書
エ. 貸借対照表 オ. 損益計算書 カ. 財産目録 キ. 附属明細表 ク. 利益明細表

【2】 X社、Y社の安全性に関する指標は〈資料〉のとおりである。次の問いに答えなさい。

問1 X社とY社の安全性を比較分析した下記の文章の（ 1 ）から（ 11 ）の中に入る適当な語句を〔解答群〕の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。同じ記号（語句）を2回以上用いてもよい。

問2 下記の文章の①、②の【 】欄について、a、bのうち、適切な語句の記号を解答欄に記入しなさい。

〈資 料〉

	流 動 比 率	当 座 比 率	総資産負債比率	固定長期適合率
X社	219%	115%	21%	55%
Y社	91%	63%	94%	117%

資料を見ると、（ 1 ）な安全性を示す流動比率や当座比率は、ともにX社がY社よりも高い。一方、（ 2 ）な安全性を示す総資産負債比率や固定長期適合率は、いずれもX社がY社よりも低い数値である。このことから、安全性については、X社の方がY社よりも①【a.良い b.悪い】ことがわかる。

さらに細かい分析をしてみると、X社の流動比率は、安全性の目安とされている（ 3 ）%を（ 4 ）いるのに対し、Y社の流動比率はそれを大きく（ 5 ）いる。また、当座比率をみても、X社は、同じく安全性の目安とされる（ 6 ）%を（ 7 ）いるが、Y社は大きく（ 8 ）いる。

Y社の総資産負債比率が高いことは、言い換えれば、総資産に占める（ 9 ）の割合が非常に低いことを意味し、財務の健全性という観点からは危険な状態である。

さらに、Y社の固定長期適合率は（ 10 ）%を超えている。これは、長期安定的な資金で調達すべき固定資産の一部が、短期的な資金である（ 11 ）でまかなわれていることを意味する。このようにみえてくると、Y社の安全性は極めて②【a.良い b.悪い】と言える。

〔解答群〕

ア. 50 イ. 100 ウ. 200 エ. 300 オ. 短期的
カ. 長期的 キ. 流動負債 ク. 固定負債 ケ. 上回って コ. 下回って
サ. 総資産 シ. 総負債 ス. 純資産

【3】 〈資料〉に示した財務諸表と追加情報により、次の問いに答えなさい。

問1 M社、N社の収益性に関する①から⑥の分析指標を計算しなさい。

- ① 総資産当期純利益率
- ② 株主資本当期純利益率
- ③ 総資産経常利益率
- ④ 売上高売上総利益率
- ⑤ 売上高営業利益率
- ⑥ 経常収益経常利益率

(注意事項)

- 1. ①から⑥の数値は算出結果のみを解答すること(計算式は不要)。
- 2. 答えは、%の小数点以下第3位を四捨五入し、第2位まで解答すること。

問2 上記問1の指標をもとに判断し、解答用紙の文の()に適切な企業名(MまたはN)を入れなさい。また、次の①から③の視点にもとづき、判断した理由を述べなさい。

- ① 総資産の使用についての効率性の視点ではどうですか。
- ② 株主資本についての効率性の視点ではどうですか。
- ③ 利益獲得活動についての効率性の視点ではどうですか。

〈資料〉

M社、N社の要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	M社	N社	科 目	M社	N社
(資産の部)			(負債の部)		
I 流動資産			I 流動負債		
現金及び預金	160,000	90,000	支払手形及び買掛金	180,000	130,000
受取手形及び売掛金	118,000	130,000	短期借入金	85,000	460,000
たな卸資産	100,000	277,000	未払法人税等	30,000	1,000
繰延税金資産	27,000	58,000	その他	20,000	39,000
その他	14,000	44,000	流動負債合計	315,000	630,000
貸倒引当金	△1,000	△2,000	II 固定負債		
流動資産合計	418,000	597,000	社債	80,000	359,000
II 固定資産			長期借入金	61,000	210,000
有形固定資産	310,000	300,000	退職給付引当金	3,000	7,000
無形固定資産	21,000	60,000	預り保証金	68,100	58,000
投資その他の資産			その他	12,900	26,000
(1)投資有価証券	110,000	380,000	固定負債合計	225,000	660,000
(2)繰延税金資産	10,000	115,000	負債合計	540,000	1,290,000
(3)その他	31,000	48,000	(純資産の部)		
投資その他の資産合計	151,000	543,000	I 株主資本		
固定資産合計	482,000	903,000	資本金	100,000	120,000
資産合計	900,000	1,500,000	資本剰余金	62,000	55,000
			利益剰余金	180,000	21,000
			自己株式	△1,000	△2,000
			株主資本合計	341,000	194,000
			II 評価・換算差額等		
			その他有価証券評価差額金	11,000	9,000
			III 少数株主持分	8,000	7,000
			純資産合計	360,000	210,000
負債純資産合計	900,000	1,500,000	負債純資産合計	900,000	1,500,000

M社、N社の要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	M社		N社	
I 売上高		1,800,000		1,000,000
II 売上原価		1,260,000		730,000
売上総利益		540,000		270,000
III 販売費及び一般管理費		440,000		250,000
営業利益		100,000		20,000
IV 営業外収益				
(1)受取利息・配当金	4,000		1,000	
(2)その他	1,000	5,000	500	1,500
V 営業外費用				
(1)支払利息	5,000		18,000	
(2)その他	4,000	9,000	1,000	19,000
経常利益		96,000		2,500
VI 特別利益		100		1,200
VII 特別損失		2,000		800
税金等調整前当期純利益		94,100		2,900
法人税、住民税及び事業税	37,100		1,100	
法人税等調整額	△800	36,300	△200	900
少数株主利益		200		100
当期純利益		57,600		1,900

追加情報

(単位：百万円)

	M社	N社
期首総資産	850,000	1,500,000
期首株主資本	303,000	194,000

【4】 〈資料〉をもとに、次の数値を求めなさい。なお、小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで解答すること。

- ① 株価収益率（P E R）
- ② 株価純資産倍率（P B R）

〈資 料〉

純 資 産（百万円）	500,000
発行済株式総数（百万株）	2,000
当期純利益（百万円）	40,000
1株当たり配当金（円）	10
株 価（円）	500